

# 令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	27	学校名	磯城野高等学校
----	----	-----	---------

## 1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	しきの式HACCPプロジェクト
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	科目「食品科学」内作業体系の内容で、バイオ技術科食品科学コース全員がHACCPについて学習し、安心・安全な加工食品を安全に製造することを目標とする。
連携・協働相手	h i i v a (パンの製造販売)、市民生活協同組合ならコープ
地域と共有している目標・課題等	小規模事業所はHACCPの認証を取得することが困難である。衛生管理等について地域の食品製造販売を行う事業所と情報を共有し、衛生管理の意識を高め、環境の改善に努めることで、安心安全な食品を製造することを目標とする。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
生徒と地域の食品製造、販売に携わる事業所との意見交換会や学習会を実施し、加工室の改善をすすめた。HACCPの認証を取得した事業所からアドバイスをいただき、その内容を地域の事業所と共有し、食品の加工、製造における衛生管理上の課題解決を図った。	

## 2. 事業の成果と課題

<p>学校近隣のパンの製造販売店、市民生活協同組合ならコープの2つの事業所によるHACCPの学習会を実施し、生徒達に衛生管理の意識付けができた。実際に食品の製造販売に携わる地域の事業所との交流により、食品製造業に興味を持ったという生徒もいた。また、令和4年2月に市民生活協同組合ならコープや田原本町、地域の味間いも農家の方々やJAならと協働し、味間いもポタージュを製品化し、販売できたことも相まって、生徒達にとって意義深い事業となった。課題としては、当初予定していた事業所数がコロナ禍により減ったことや、休校により予定していた実施時期や事務作業が遅れたことである。</p>
--

